

中学数学通信教育・利用ガイド

2020. 8. 31(月)

学校のテストや入試では、問題は「紙に書いて」解かなければなりません。

コンピュータを利用した通信教育がどれだけ便利で分かりやすくとも、それはテストには使えません。コンピュータ通信教育を受講しても、やはり、紙に書いて解く練習はしなければなりません。また、「分かりやすい講義」が自分で考える力を削ぐという負の面もあります。わかったはずなのに、紙で問題を解こうとしても解けないことがあるのです。だから、Web授業を受けても、紙で問題を解く練習をしなければなりません。

数専ゼミの通信指導は、紙の資料を自分で学び取り、紙に問題を書いて解く形の学習です。つまり、自ら考えながら、テストそのものの練習することになります。

① 通信教育の受講のしかた

* 受講は、教科書の「単元毎」に申し込みます。

例えば、中1 方程式、中2 1次関数、中3 相似 など…

受講を申し込むときに、「受講申込書」に受講する単元名を書いて指定します。

(1) センターから「学習教材」が郵送されてきます。(資料+チェック問題+演習問題/問題の解答)

(2) それを、次の要領で学習してください。

①★知識の整理★や★解法の技術★を学び、それを参照しながら問題を解く。

②別紙「解答」を見て、答合わせをする。

③解き方がわからないときは、メールかFAXでセンターに質問する。

たとえば、「方程式No.15(3/5)【2】の解き方がわかりません。」など。

詳しい解き方の資料を数専ゼミのホームページ上にアップロードします。

返信メールからこの解き方の資料へリンクできます。

(3) 郵送されてきた教材の学習が終わりそうになったら、メールで次の教材を請求する。

・単元内の学習を続けるとき

たとえば、「方程式のNo.20から教材を送って下さい。」など。

教材とともに、その単元の「学習計画書」が同封されてくるので、その中から選ぶ。

▶「学習計画書」のサンプルはこちらから → |学習計画書|

【注】「学習計画書」の画面から、この画面に戻ってきたいときには、ブラウザの「戻るボタン」を押す。

・新しい単元の学習へ移るとき

たとえば、「関数とグラフのNo.1から教材を送って下さい。」など。

(4) 学習の様子をみながら、センターから適時、学習法のアドバイスを郵送します。

【注】なんらかの通信事故が生じた場合は、ホームページでご案内しますので、教材が届かなかったり、メールが通じないときは、**suusenn.com** をご覧下さい。

② 受講料

(1) 受講料について

プリント1枚(B5またはA4/片面印刷)につき50円とさせていただきます。
なお、この50円には、コピー代、用紙代、郵送代、封筒等送付経費のすべて、
および、質問(何回でも可)を含めた指導料のすべてを含みます。
したがって、これ以外の一切の費用はかかりません。

1回の送付プリント枚数は50枚前後で、請求受講料は2500円前後となります。
1つの単元の送付回数は、4回から5回ほどです。

(2) 送金方法について

教材の送付ごとに請求書を作成し、請求書と郵便振替用紙を教材に同封いたします。
1週間以内に、所定金額をお近くの郵便局から送金下さい。

③ 退会について

一週間以内に受講料の払込みがないときは、自動的に退会となり、教材の郵送を停止します。
とりたてて、退会手続きの必要はありません。
いつからでも、再受講はできます。最初から、入会手続きをおとり下さい。

数専ゼミ通信教育センター

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

FAX: (023)633-1094 / TEL. (023)633-1086

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp